

岩井地区祭礼
8月20日(土)

地域のお祭りを楽しみましょう!

○神輿渡御

久枝…天満神社(8:30)→JA富山(9:05)→ふれスポ(9:25)→海岸(10:20)→御浜出(11:15)→神明神社(13:10)→天満神社(14:00)

市部…天満神社(8:30)→明石新聞店(9:55)→岩井駅(10:40)→夕凧の郷(11:20)

竹内…八雲神社(8:30)→コメリ脇(9:50)→集会所(11:00)→八雲神社(12:00)池田屋(12:00)→天満神社(12:30)

○屋台運行

久枝・二部・市部・竹内・合戸・宮谷…道の駅富楽里(15:55~17:10)

久枝・市部・竹内…岩井駅(19:10~19:50)

浜下・出口・岡・下里松…高崎公会堂(14:20~14:50)

高崎連合・小浦…高崎浜下駐車場(17:55~20:00)→祭り囃の共演(19:20頃)



菓子投げあります

夏まっさかり 7/10・岩井海岸は賑わっていました



日本体育大学・国土館大学の実習が行われ、多くの学生達が緊張の面持ちで先生の話に耳を傾け、厳しい指導を受けていました。これから何キロの遠泳に挑むのでしょうか?無事に泳ぎきってと願わずにはいられませんでした。

シャボン玉・紙ヒコーキ遊びと オオクワガタ観察会を開催しました

7月30日(土)に観音山(市部)を会場に、シャボン玉と紙ヒコーキ遊びを行いました。大きなシャボン玉がふわふわ浮くと大きな歓声が聞こえました。紙ヒコーキづくりでは、完成した紙ヒコーキに思い思いの絵を書き飛ばしていました。オオクワガタ観察会は観音山下の「森のてーぶる」に会場を移し、オーナーの堀込清一氏よりオオクワガタの飼育や生態について解説していただきました。最後に行われた抽選会では、オオクワガタやカブトムシをゲットした子供たちの笑顔が会場をより盛り上げました。



紙ヒコーキとシャボン玉遊びで大はしゃぎの子供達 堀込氏の解説とオオクワガタが当たる抽選会で大盛り上がり



里美発見伝ウオーク28 「古代の官道・頼朝伝説の滝・善導寺を 巡り、ブルーベリー狩り」を行いました

7月27日(水)に30名の参加で開催しました。前日までの雨が心配でしたが、どうにか雨も上がり、しのぎやすい曇り空のもとウォーキングとブルーベリー狩りを満喫しました。善導寺では檀家さんのご好意でお茶とアメを頂きました。ブルーベリー狩りは時間を忘れて、皆さん無口になってひたすら食べ続け、山盛りのお土産を持ち帰りました。360度パングラマのブルーベリー畑は絶景でした。

翌日、参加者の方からうれしいお電話を頂きました。毎回参加者の安全第一に役割分担したスタッフを配備し、この日は坂道に不安な方に付き添って少し別コースを辿りました。そのお礼のお電話でした。これからの励みになります!

スタッフの方は皆さんとても親切で、優しく対応して頂きました。ありがとうございました。



安房国に置かれた「白浜駅と川上駅」

養老2(718)年、平群(平)・安房・朝夷・長狭の4郡が上総国から分かれて安房国が設置されると、安房国の国府(三芳の府中)へ至る道路が建設されたと思われます。延喜式によれば、安房国には、白浜駅と川上駅があり、駅馬(はゆま)が5頭常備されていたと言われます。

白浜駅は、最近の研究では国府に隣接するところ(現在の館山市正木辺りが白浜郷)に、国府湊を兼ねてあったと考えられています。

川上駅は、全ての研究者が富山地区の川上を比定しています。川上は、外房と内房をつなぐ東西の道と安房と上総をつなぐ南北の道の十字路に位置し、交通の要衝でした。安房路は、ここから丘陵を超え天羽駅へ北上していました。

この官道を通って、安房国の干しアワビが都へ運ばれていたことが木簡からわかります。

頼朝伝説に浸れる「滝の沢」

地元で、「たいのさ」と呼ぶ隠れた滝です。井野集会所を過ぎ、農家の手前に小さな沢があります。この沢を山へ向かって入っていくと岩肌が現れます。高さは30メートルぐらいです。雨の日でも水量は少なく、ちょろちょろ流れる滝です。

滝中央の大岩には、いくつかの穴があります。地元ではこれを「頼朝の名馬の蹄跡」と呼んでいます。滝の右側は古道になっていて昭和40年代までは、平群地区と佐久間地区を結ぶ生活道路でした。歴史ある古道なので、頼朝が馬に乗って通り、この滝の岩に蹄跡を残したという歴史ロマンに浸れる滝です。



資料は、富山町史・安房の歴史・他から